

「靈の書」(上) — 目次

訳者序 3

第一部 原因

一章 神 15

神と無限〔一〇〜九〕・神の属性〔二〇〜一三〕・汎神論〔二四〜一六〕

二章 宇宙の普遍的要素 23

ものの第一原理について〔二七〜二〇〕・靈と物質〔二二〜二八〕
物質の性質〔二九〜三四〕・宇宙空間〔三五〜三六〕

三章 創造 35

宇宙の創造〔三七〜四二〕・生命の創造〔四三〜四九〕
始祖アダム〔五〇〜五一〕・人種の相違〔五二〜五四〕

世界の多様性〔五五〜五八〕・旧約聖書の天地創造の説話〔五九〕

四章

活力原理

有機体と無機体〔六〇〜六七〕・生命と死〔六八〜七〇〕
知性と本能〔七一〜七五〕

45

第二部 靈魂の世界

五章

靈

靈の起源と本質〔七六〜八七〕・靈の形と遍在〔八八〜九二〕
靈の外被〔九三〜九五〕・靈魂の諸段階〔九六〜一〇〇〕
第三段階―未完成の靈魂〔二〇一〜二〇六〕
第二段階―善靈〔二〇七〜一一一〕・第一段階―清淨靈〔一一二〜一一三〕
靈魂の進歩〔一一四〜一三一〕

55

六章 靈の受肉 87

地上誕生の目的〔一三二～一三三〕・魂〔一三四～一四六〕

唯物主義〔一四七～一四八〕

七章 地上から他界への帰幽 99

死後の魂〔一四九～一五三〕・魂と肉体との分離〔一五四～一六二〕

一時的な、死後魂の戸惑い〔一六三～一六五〕

八章 人生の繰返し 107

再生〔一六六～一七〇〕・再生の正義〔一七一〕

別の天体への再生〔一七二～一八八〕・進みゆく輪廻〔一八九～一九六〕

死後の子供の運命〔一九七～一九九〕・靈の性〔二〇〇～二〇二〕

家族関係―子孫〔二〇三～二一七〕・生得の観念〔二一八～二二二〕

九章 靈の生活 139

十章

地上への再生

他界にある靈〔二二三～二三三〕・過渡的な世界〔二三四～二三六〕

靈の知覚、情緒、苦しみ〔二三七～二五六〕

試練の選択〔二五八～二七三〕・他界における諸関係〔二七四～二九〇〕

靈の抱く共感と反感〔二九一～三〇三〕

地上生活の記憶〔三〇四～三一九〕・葬式〔三二〇～三二九〕

再生の序曲〔三三〇～三四三〕・靈肉の結合〔三四四～三六〇〕

道徳的・知的能力〔三六一～三六六〕・肉体の影響〔三六七～三七〇〕

白痴―狂氣〔三七一～三七八〕・幼年時代〔三七九～三八五〕

地上での愛情や反感〔三八六～三九二〕

前生の記憶を失うこと〔三九二～三九九〕

「靈の書」(中・下) 目次 231